授業デザイン

教科（科目）：〇〇　　授業者氏名：〇〇〇〇　（複数名での授業も可）　令和３年　月　日（　）

実施学級：
実施場所：
単元名　：　　〇／〇時

1　本時の指導目標	※「（生徒が）～できるようになる」といった行動目標で書くこと。 ※５月提出の「授業改善のための工夫シート」に記載した授業改善ポイント（本年度重点的に取り組む内容）を踏まえた授業となること。
2　本時の手立て	※本時の指導目標を達成させるための教師の手立てを書く。
3　評価方法	※本時の指導目標が達成できたかどうかを検証する方法。いずれかにチェックを入れる。 □小テスト　□定期考査　□レポート □ルーブリック（評価者：教師）　□ルーブリック（評価者：生徒） □実技テスト　□ノート・ワークシート　□アンケート □様相観察　□発言 □その他（　　）
4「深い学び」に導くための問い	問い　※本時の指導目標と関わる本質的な問い
	問いのレベル ※いずれかにチェックを入れる。 ※Ｉレベルの問いにとどまらず、Ｃ・Ｅレベルの問いを目指す。 **□Ｉレベル　Ideas　知識、技能の習得** （基本的な事項、基礎的な事実関係、定義、基本的な概念等を確認するような問い） **□Ｃレベル　Connections　既知の知識・概念や他領域とのつながり** （教科の既習内容、他教科の内容、実生活の内容などと、学んだことの関係やつながりを理解させる、あるいはそれらとつなげて説明させるような問い） **□Ｅレベル　Extensions　応用、活用** （学んだことを全く新しい状況に応用させるような問い。答えが一つに定まらない問い。リアリティがあり、他者性を前提とした問い）

5　学習の展開			
学習活動		指導上の留意点	評価方法
導入	●本時の目標を提示する。 ※生徒が主体となるように記述する。	※教師が主体となるように記述する。	
展開			
まとめ	●学習のまとめと振り返りをする。		

6　資料

※評価をする際に用いた資料を添付する。
（例）アンケートやルーブリックの用紙、ワークシート、定期考査の出題問題の内容など